

2017年3月27日
SMBC日興証券株式会社**2017年度春季部店長会議 清水社長 発言要旨**

役社員の皆さまには、それぞれの持ち場において、日々、業務に励んで頂き、厚く御礼申し上げます。今年度は年初から想定を下回る株価水準が続き、上期は苦戦いたしました。米国大統領選以降の株価回復も相まって、下期は巻き返しを図っていただいたと感じている一方、各部門においてはまだまだやるべきことが残っている事を感じさせられる1年となりました。

来年度から新たにスタートする中期経営計画についてお話します。まず、目指すべき将来像は「国内外において質の高いサービスを提供する本邦 No.1 の総合証券会社」です。これは揺るぎません。さらに、この将来像を実現するための新中期経営計画のテーマを「2019年度に営業基盤および収益・収支において、本邦 No.1 が狙える地位の確立」といたしました。

新中期経営計画においては顧客本位の業務運営を徹底し、営業部門では資産管理型ビジネスへの取り組み強化、ホールセール部門では銀行・証券・信託の連携強化、商品部門では人員増強とインフラ整備、国際部門では非日系ビジネス拡大とガバナンス強化を含むインフラ整備等に取り組む事により、収益のみならず収支にも拘った経営をいたします。

来年1月、当社は、SMFGの証券ビジネスの更なる強化、競争力向上を目指し、SMBCフレンド証券と統合します。

円滑な統合を実現するため、既に126人のSMBCフレンド証券の若手社員を当社の各支店に受け入れており、4月にはSMBCフレンド証券で採用した約100人の新入社員も受け入れ予定です。部店長の皆さまには、当社の若手社員や新入社員と区別することなく、愛情を持って育てて欲しいと思います。

互いに協力し全社一丸となって、お客さま本位の意識のもと中期経営計画の達成に向けて、ご尽力をお願いいたします。

以上